

いのち まも いのち たいせつ  
命を守る・命を大切に

がっこうちょう もり あい こ  
学校長 森 愛 子

13・14日、一泊二日で6年生と共に日光宿泊体験学習に行ってきました。昨年度より修学旅行専用列車から貸切バスに変更し、本校独自の体験活動を模索しておりましたが、今年度は「一致団結して力を合わせて一つのことを成し遂げ、達成感を味わわせる」というねらいで、鬼怒川でのラフティング体験をしました。

小学生対象のラフティング（ゴムボートでの川下り）ということで、安全面や費用の点で運営団体と十分検討を重ね、実現したわけですが、13日当日の日光・鬼怒川の天候は不安定でした。雨が降ったり止んだりする中、戦場ヶ原や華巖の滝を見学し、いよいよ鬼怒川に向かいました。天候が安定しないと実施できないと安全第一で臨む団体の対応の丁寧さに安心しつつも、「早くやりたい」と子ども達の気持ちは高まるばかり。ようやく実施が決まった時には、歓声が上がりました。ウェットスーツとライフジャケット（救命胴衣）を身に付け、揃いのパドルを持つ姿はかっこよく、やる気をかき立てましたが、何よりも大切なインストラクターの説明を命に関わることであるからと真剣な面持ちで聞き、終始決まりを守った素早い行動をし、思いきり楽しみながら、目的を達成することができました。

体験終了後の感想には「みんなで声を掛け合いながら一生懸命こいで、楽しかった。」

「ラフティングは、前こぎや後ろこぎをみんなで合わせてバランスよくやらないといけない。協力しないと進まないから友情を広め、深められた。」など仲間と協力して楽しみ達成感を味わったことが表れていました。また、「ラフティングでふざけると川に落ちて命に関わることを知った。楽しむのとふざけるのはちがうからふざけずに楽しんだのが学びを深めたと思った。」と、自分で命を守ることへの自覚が高まったようです。

4月の学校便りでも紹介した市沢小の「あ・い・う・え・お」の「い」は「命」の「い」です。自分の命、人の命を大切にできる子になってほしいと願っています。そのために、どんな学習を計画し、どんな指導をし、子ども達を育てていくかを学校は常に考えています。毎月の避難訓練、交通安全教室などはもちろん、下校時刻を揃えできるだけ人目の多い時間帯に揃って下校させ、学援隊の皆様のご協力により見守り活動も続いています。

全国で子どもが被害に合う事件が相次ぎ、残念でありませんが、この夏休みも「夏休みの過ごし方」のプリントを配付しますので、それを参考に各ご家庭で今一度、「命を守る」ための決まりの確認をしてください。特に、帰宅時刻を守らせることやどこで誰と遊んでいるかの確認は必ずしてください。また、「命を大切に」するために、お子さんが安心して心穏やかに過ごせているかご家庭でのふれあいを通して感じていただけたらと思います。